

会社概要

商 号	技建開発株式会社
代 表 者	代表取締役 武井 清彦
設 立	昭和59年9月5日
資 本 金	2,000万円
事 業 登 録	測量業者登録 第(8)-17483号 建設コンサルタント登録 建06第5311号

- 河川、砂防及び海岸・海洋部門
- 道路部門
- 農業土木部門
- 都市計画及び地方計画部門
- 土質及び基礎部門
- 鋼構造及びコンクリート部門
- トンネル部門
- 施工計画、施工設備及び積算部門
- 建設環境部門
- 機械部門
- 鉄道部門

補償コンサルタント登録 ―― 補07第3745号

- 土地調査部門
- 物件部門

地質調査業者登録 ――― 質07第2947号

一級建築士事務所登録

長野県知事登録(飯田)D第02051号

警備業登録 ―― 長野県公安委員会第303号

労働者派遣事業 ――― 派20-300310

社 員 数 268名(令和8年9月現在)

- 加入団体等
- 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
 - 一般社団法人 農業土木事業協会
 - 一般社団法人 長野県測量設計業協会
 - 一般社団法人 赤外線画像診断研究協会
 - 一般社団法人 日本インフラ空間情報技術協会
 - 一般社団法人 長野県警備業協会

建設コンサルタント
技建開発株式会社 本社

名古屋支店 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1-7-5 電波学園金山第1ビル3F
TEL.052-746-9575(代) FAX.052-746-9570

北陸支店 〒920-0031 金沢市広岡2-7-1 ラフレシアビル3F 301号
TEL.076-223-5265(代) FAX.076-223-5264

伊那支店 〒396-0013 長野県伊那市下新田3040-1
TEL.0265-98-4033(代) FAX.0265-98-4013

東京支店 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-14 ワコー代々木ビル7F
TEL.03-6380-4478(代) FAX.03-6380-4487

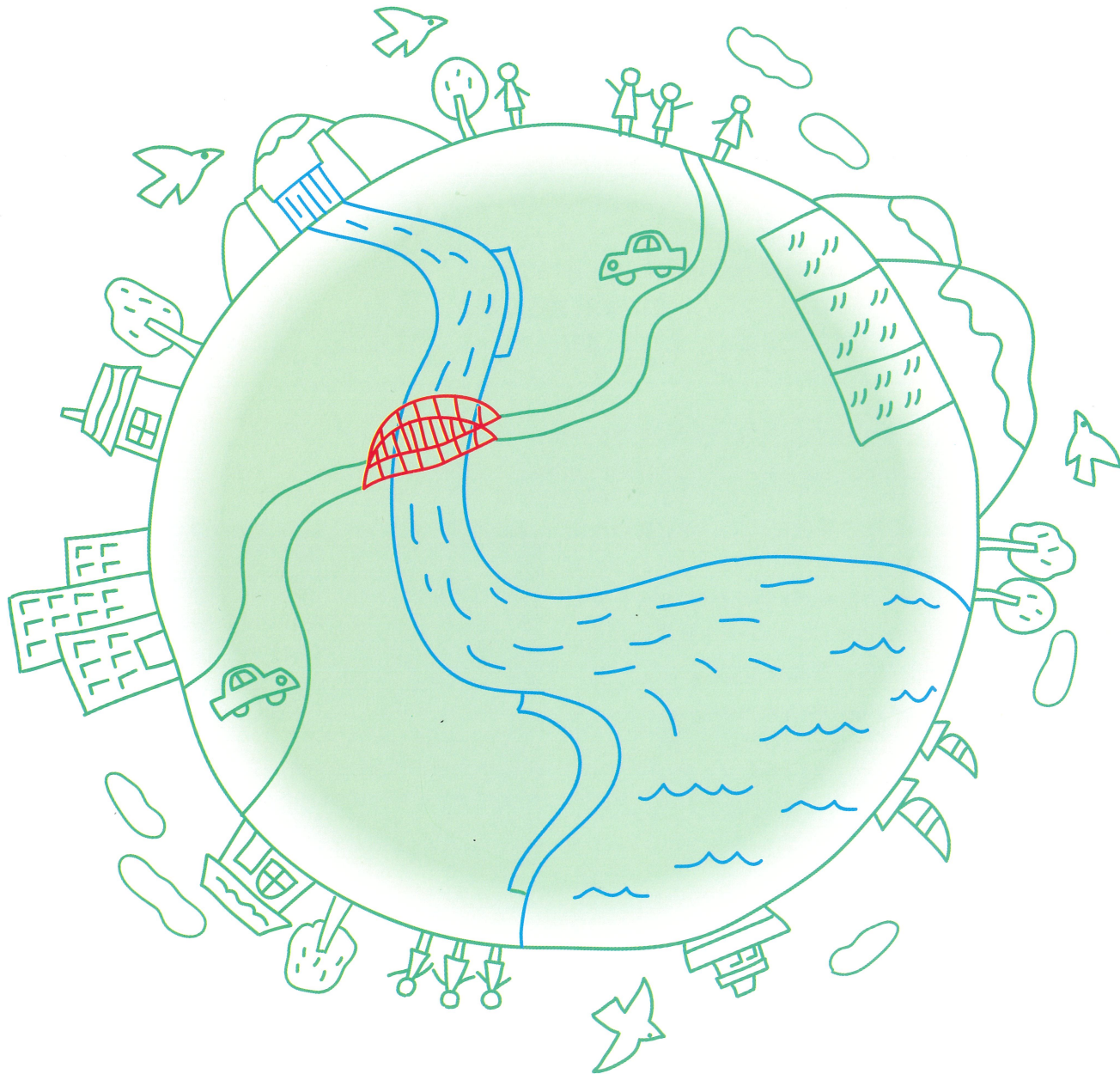
長野支店 〒380-0838 長野県長野市南長野県町484-1 センターポア301
TEL.026-266-0715(代) FAX.026-266-0718

中信支店 〒391-0013 長野県茅野市宮川5810-6 マルユービル1F
TEL.0266-78-6317(代) FAX.0266-78-6377

有資格者数

工学博士		2名
技術士	建設部門	土質及び基礎.....1名
		鋼構造及びコンクリート.....5名
		都市及び地方計画.....1名
		河川、砂防及び海岸・海洋.....3名
		道路.....8名
		鉄道.....1名
		トンネル.....3名
		施工計画、施工設備及び積算.....4名
		建設環境.....4名
	農業部門	農業土木.....2名
	機械部門	熱・動力エネルギー機器.....1名
	応用理学部門	地質.....1名
	総合技術監理部門	9名
環境計量士(騒音・環境振動関係)		2名
環境計量士(濃度関係)		1名
第1種作業環境測定士(有機溶剤、特化物、粉じん)		1名
騒音・振動関係公害防止管理者		1名
大気関係第一種公害防止管理者		1名
水質関係第一種公害防止管理者		1名
技術士補 建設部門他		25名
RCCM		40名
地質調査技士		1名
測量士		35名
測量士補		38名
1級土木施工管理技士		101名
2級土木施工管理技士		36名
1級舗装施工管理技術者		6名
コンクリート診断士		13名
コンクリート構造診断士		6名
コンクリート主任技士		2名
コンクリート技士		13名
岐阜大学ME(社会基盤メンテナンスエキスパート)		1名
名古屋大学N2U-BRIDGE(ニュー・ブリッジ)橋梁診断士		1名
名古屋大学N2U-BRIDGE(ニュー・ブリッジ)橋梁点検士		8名
中部地方整備局認定ICTアドバイザー		2名
Jシステム技術者登録		9名
一級構造物診断士		2名
二級構造物診断士		3名
道路橋点検士		12名
木橋・総合診断士		3名
舗装診断士		1名
河川点検士		9名
農業土木技術管理士		3名
農業水利施設機能総合診断士		2名
農業水利施設補修工事品質管理士		3名
ダム管理技士		7名
一級建築士		3名
1級電気施工管理技士		4名
第一種電気工事士		3名
第三種電気主任技術者		2名
ITC(赤外線トレーニングセンター)レベル1認定		2名
赤外線サーモグラフィ試験レベル1		2名
二等無人航空機操縦士		3名
JUIDA無人航空機操縦技能者		4名
宅地建物取引士		5名
斜面判定士		8名
のり面施工管理技術者		2名
二級自動車整備士(ガソリン・ディーゼル)		1名
樹木医		1名

よりよい未来環境へ



Corporate Profile

建設コンサルタント
技建開発株式会社 本社

名古屋支店 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1-7-5 電波学園金山第1ビル3F
TEL.052-746-9575(代) FAX.052-746-9570

北陸支店 〒920-0031 金沢市広岡2-7-1 ラフレシアビル3F 301号
TEL.076-223-5265(代) FAX.076-223-5264

伊那支店 〒396-0013 長野県伊那市下新田3040-1
TEL.0265-98-4033(代) FAX.0265-98-4013

東京支店 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-14 ワコー代々木ビル7F
TEL.03-6380-4478(代) FAX.03-6380-4487

長野支店 〒380-0838 長野県長野市南長野県町484-1 センターポア301
TEL.026-266-0715(代) FAX.026-266-0718

中信支店 〒391-0013 長野県茅野市宮川5810-6 マルユービル1F
TEL.0266-78-6317(代) FAX.0266-78-6377



建設コンサルタント
技建開発株式会社

確かな品質・技術力・発想力をもとに、 調和のとれた社会資本の整備をサポートします。

事業紹介

施工管理部

施工管理部は、社会資本整備の最前線で発注者支援業務(工事監督支援業務・積算技術業務等)を行います。工事監督支援業務は公共工事と民間工事に対応し、どちらも専門知識と豊富な経験を積んだ技術者が、工事の円滑な履行に貢献します。

発注者支援業務

一般土木(河川・砂防・ダム・海岸・道路・橋梁・トンネル・下水道等)
農業土木(ダム・頭首工・水路・パイプライン・道路・橋梁・圃場整備等)
計画設計・施工管理・建設関連現場技術・その他各種技術サポート



技術部

技術部は、公共事業の各種プロジェクトを高い技術力と豊富な経験によって実現します。プロジェクトの実現に向けて、自然との調和、環境問題等、様々な問題を、多くの実績の中で培ったノウハウと最新の技術を駆使して、理想的な社会環境を提案します。

企画・調査・測量・設計

河川・砂防・ダム・海岸・道路・橋梁・下水道等
測地測量・地形測量・応用測量・補償コンサルタント

都市計画

都市計画・地方開発企画



インフラインスペクション事業部

インフラインスペクション事業部は、日本経済の成長と共に、急速な発展を遂げた道路・橋梁・トンネル等の道路ストック及び、河川砂防施設並びに農業土木施設について、専門知識と経験を積んだ技術者が点検・調査を行い、老朽化・劣化の進捗を診断し、その対応策を提示することによってインフラストックの維持管理、保全に貢献します。

点検対象施設

道路施設(道路・橋梁・トンネル・擁壁・函渠・標識照明等)
河川砂防施設(砂防ダム・河川護岸・堤防・地すべり施設等)
農業土木施設(ダム・頭首工・水路・道路・橋梁等)



自
社
開
発
技
術

鉄筋コンクリート内部ひび割れ検出システム
CQドクター®

NETIS登録番号
KT-230122-A

点検支援技術性能カタログ
BR020041-V0024

河川点検技術カタログ
計測-8

電磁波レーダ装置で調査対象を計測・取得したデータから自己組織化マップ(SOM)の機械学習分析を採用したクラスター分布表示により損傷を判断するシステムです。

▲GMS3トラックタイプ ▲普通乗用車タイプ

1 名古屋大学との共同開発

名古屋大学大学院工学研究科の中村光教授との産学共同研究。研究内容は土木学会論文集にも掲載(2020年76巻3号)

2 点検～解析イメージ

●電磁波レーダ機(GMS3)にて計測
●計測データを取り出し、SOMによる損傷の分類処理
●分類されたデータのグループ毎に色分けした結果出力・損傷の推定判断

調査・計測／データ移行

電磁波レーダでの調査・計測対象のデータ取得 → 計測データ CSV形式出力 → データ移行

システムの適用範囲

データ移行完了 → データ配列の調整 → 機械学習用入力データ作成 → 機械学習による解析処理の実行 → 結果の描画 → 異常領域の選定 → 異常領域の判断

3 成果品アウトプットイメージ

調査対象橋梁の上空視(オルソ)画像
機械学習処理後の分布画像
損傷予想箇所の分布画像(選定判断後)

技
術
提
携
技
術

高性能赤外線調査
トータルサポートシステム
Jシステム

点検支援技術性能カタログ
BR020004-V0221

浮き・剥離を100%検出する、より安全で低コストなコンクリート内部診断です。

従来の調査
近接目視及び打音検査
[足場・車線規制が必要]

Jシステム
遠望からの調査が可能
[足場・車線規制は不必要]

調査可能範囲2～90m

損傷レベルが3段階表示(赤・黄・青)でわかりやすく、判定結果のバラツキを防止。
調査記録を保存し、経年劣化を把握できる。

Jシステムによる赤外線調査の流れ

①可視画像撮影 ②EM(S)装置の設置 ③赤外線調査(夜間)

Jシステムは、近接目視と同等の診断が可能と認められた技術です。

技
術
提
携
技
術

地下空洞探査 地中レーダ 3次元モバイルマッピングシステム
GMS3

NETIS登録番号
KT-170087-VE

地下と地上情報を効率的で高精度に一元管理する次世代の3次元調査システムです。

1 地中レーダ 3次元地中レーダシステム

2 モバイルマッピングシステム

3 地下と地上情報の一元管理

技
術
提
携
技
術

最先端ひび割れ計測システム
シン・クモノス

点検支援技術性能カタログ
BR010006-V0323

NETIS登録番号
KK-080019-V

NETIS準推奨技術に選定されているひび割れ計測システム「クモノス」と高解像度カメラの撮影・補正を組み合わせることで、調査精度が向上し、より広範囲への適応を実現した新技術です。

写真 × クモノス

▲成果図

1 120m先から幅0.2mm以上ひび割れを安全に計測可能

2 視準可能な損傷全てにおいて調査漏れの防止が可能

3 ±3mm以内の位置精度で正確な経年劣化の調査が可能

4 遠方から忠実な現況図の作成が可能

5 補正写真から抽出するひび割れ幅の精度が向上

6 現場日数の大幅な削減が可能

技
術
提
携
技
術

最新鋭の探査技術
PC橋のグラウト調査

NETIS登録番号
KT-230122-A

PC鋼材のシース管グラウト再注入のための補修数量の把握や、補修工法を検討するための基礎資料を得る。

グラウト調査の流れ

鋼材探査 → 開孔調査 → CCDカメラ撮影 → グラウト充填度の判定 → グラウト再注入等の補修 → 後埋め・復旧

グラウト充填度の判定 (CCD画像)

充填 未充填